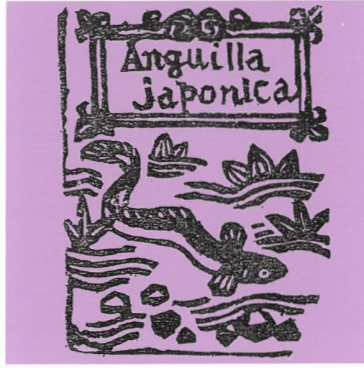
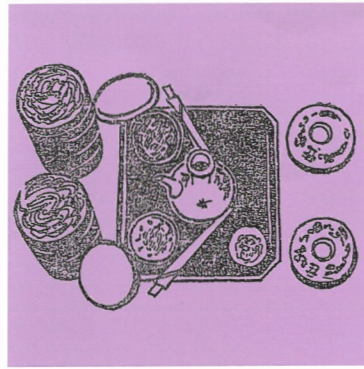


御存じですか？

全5巻

植原
路郎 著



クレス出版

《博学多識》の植原路郎（二八九四—一九八三）氏の著作をテーマ別に纏め、
広く事典・参考図書・読み物として文化史・風俗史研究家のほか、図書館必備の書。

刊行にあたって

「人間と言う生き物は知識を増やすことで快感を得る唯一の動物である」(SF作家アイザック・アシモフ)
本叢書は《博学多識》の植原路郎氏の著作を【知】【食】【味】【読】【事】のテーマ別に纏めて、広く事典・参考図書・読み物として、文化史・風俗史研究家のほか、一般の方々にご利用いただきたく出版するものです。

植原路郎(本名武徳)氏は、明治二十七年十二月十二日に長野で生まれ、大正七年に早稲田大学政経学部卒業。芳賀矢一博士(帝大)、瀧本誠一博士(慶大)の助手を経て、博報堂、東京新聞社等に勤務。出版研究春夏秋冬倶楽部主宰、日本そば新聞社々友、日本女性新聞社寄稿家、昭和五十八年六月七日に逝去。

『新しい言葉の字引』(大正七年・実業之日本社)のほか、「そば」などの食べ物、映画、手紙、風俗等に関する本を出版。また小社で纏めて刊行した事物起原に関する書が三冊ある(『社会事物 起原と珍聞』(昭和四年・実業之日本社)、『日本事物起原誌』(昭和十八年・照林堂書店)、『座談の泉 事はじめ・物ははじめ』(昭和三十二年・実業之日本社))。

【知】『御存じですか? —常識百般早わかり—』(昭和10年、丸之内出版社)を改訂

【内容】実用と興味とを折衷し、日常生活に関係ある質疑六百数十題

『明治語典 言葉で描く風俗誌』(昭和45年、桃源社)

【内容】死語、廃語も含め知っておくと都合がよい言葉を集めた書

『食通入門 —食べ物事典—』(昭和46年、自治日報社出版局)

【内容】飲食物のごく手近なものについて読みやすく解説

附録『食卓への招待 味の辞典』(昭和31年、実業之日本社) 前書の未収録項目

【味】『そば 風味・風習』(昭和32年、ダヴィッド社)

【内容】「そば」そのものだけでなく、その背後の時代好尚や、社会的・経済的事情、

また民俗的行事なども浮き彫りにする

『鰻・牛物語』(昭和35年、井上書房)

【内容】鰻談集と世相、牛談集、牛鍋発展誌、牛の戸籍調べ

『新聞雑誌語事典』(昭和16年、八光社)

【内容】新聞・雑誌に頻繁に使用される言葉を詳解

『実用本の辞典』(昭和39年、出版ニュース社)

【内容】出版関係の各方面の用語を読みやすく解説し、読み物的要素も採り入れる

『明治大正昭和大事事件怪事件記録』(昭和7年、実業之日本社)

【内容】古き昔の事件三百数十件を選び出して辞典式五十音順に排列



荻窪本むら庵本店にて(著者は右から二人目)

【知】「御存じですか? —常識百般早わかり—」

【問】位階勲等とは、どういうことですか。

【答】位階は天皇から賜る栄ある称号で、正一位から従八位まで十六階あり、正は従の上に立ちます。勲等は国家に勲功ある者に対して賜る誉れの表彰で、旭日章、瑞宝章、宝冠章、菊花章、金鷄勲章の五種類があります。この中、旭日章、瑞宝章、宝冠章は、勲一等から八等まであります。宝冠章は、婦人に賜る章であります。菊花章は大勲位だけを表わし、金鷄勲章は戦時に武勲抜群の者に賜る章で、功一級から七級まであり、金鷄勲章に限り、特に本人在世中及び死後一年間だけ年金が支給されます。

【問】「栴」という風俗は、いつ頃からはじまったものですか。

【答】江戸下町風の粋なものだが、高尚とはいわれません。川柳に「栴巻は嫁の身持のくづしぞめ」とあります。栴巻は日本全国に行われるが、その起りは、宝暦中、浅草寺お福茶屋に、みなどやお六と名乗る名代の女がいて、頗る粋に上手に試みたので、一時流行時代を作ったほどあります。

【問】「コント」という言葉は、どういう意味ですか。

【答】フランスでは短篇小説のことをコントと称していますがその言葉が日本にも伝わったのです。短篇とはただ短いというだけでなしに、次のような条件が備わっていないと認められないです。つまり、独自の構想の下に、読切であって、どこかすっきりした所があり、機智に富んでおり、何か読者の胸を鋭く射る俗にいう「ねらい」がなければコントとはいわれません。フランス

【食】「食通入門 —食べ物事典—」

△食初模様▽(くいぞめもよう) 生児の百二十日目に、はじめて飯を食べさせる祝儀を

紋様には、松竹梅などの図柄が選ばれる。

△空也餅▽(くうやもち) 空也上人が開いた京の空也堂で仏前に供えた餅。それに模し

た餅という意であろう。モチ米を蒸し、これに水をそそいで、再び蒸して半つきにし、それで粒箱を包む。またこの上人にあやかって、最中(もなか)の名称としたものもある。空也上人は天台宗派の僧侶で、康保から天禄(十世紀中ごろ)にかけて諸国を巡歴伝道した。東京の「空也最中」は現代小説の点景にも現われる。

△古老肉▽(クローロ) 俗に言う豚豚である。脂肪のすくない部分の豚肉を二センチ

(七分弱) ほどの角切りとし、片栗粉でまぶし、胡麻油でいためる。次に醤油と砂糖とで味つけをする。別にネギ、タケノコその他の野菜を油で炒り、スープを加えて煮詰め、酢をさした中に前の豚肉を入れて再び煮る。ドロリとさせるためには、片栗粉の水ときを加えて煮込む。

△枸杞▽(くこ) 茄子(ナス)科の植物でアジア各地で見られる。二十数種の精力素を

【味】「鰻・牛物語」

第六話 ウナギと世相

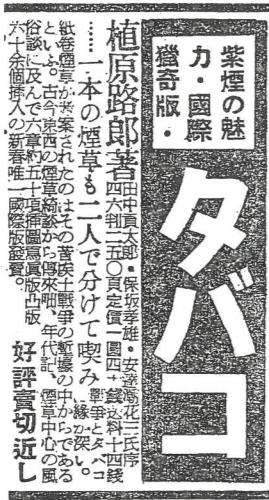
「一」江戸初期の食生活

…A…生魚売買禁止令

ウナギを料理として扱った元祖は、結局京・大阪である。従って、室町時代(十五世紀〜十六世紀)以来、京・大阪はウナギに対して、舌の修煉を積んで来たわけである。これにくらべると、江戸は立ちおくれで、何によらず、食べ物に関心が持たれて来たのは明暦三年の大火(一六五七年)以後と思われる。しかし、ウナギにしても、ソバ(蕎麦)にしても、やがて江戸が京・大阪のお株を奪ってしまった。

明暦三年の大火の後、万治と改まり、三年で寛文(かんぶん)となった。十七世紀の中ごろに当るが、江戸の食べ物貧弱であった。寛文は十二年続いた

第六話 ウナギと世相



白抜き文字見本

説によると、白地に黒文字より黒地に白抜きにしたものが、3割ほど大きく見えるという。出版広告に多く用いる。

【新刊紹介】 しんかんしょうかい。新聞・雑誌で行われる新刊紹介は、その紹介文そのものが、読み物的であると同時に、その書の要点をはっきりつかんでいなければならない。また、新刊紹介係りは、自分の好みに合ったものだけを紹介するという偏見を持ってはならない。新聞社では学芸部、または文化部のこの係りが紹介を扱っている。新刊紹介は要するに「良書をいかにして広く世に告げ知らせるか」というところに眼目があり、その公正な紹介文によって読者が動かされなければ価値

【シリーズ】 Series (英) [叢書] 参照。【私立図書館】 しりつとしょかん。private library (英) 官立・公立に対して、個人・私有の図書館をいう。学会や学術団体、篤志家の寄贈によるものなどもある。【白小口】 しろこぐち。書籍の小口を白のまま、色つけや箔つけをしないもの。White edge (英) のことをいう。【四六倍判】 もとの四六判全紙(新規格によるB版に近い形) 16取り(16折り)で、大体タテ8寸5分、ヨコ6寸2分。ただし、これよりタテ・ヨコ共1分のびたのものもある。四六全紙の寸法は788×1091mmである。【四六判】 四六全紙(3尺6寸×2尺6寸)を32取りとした形。(32-2)で、大体タテ6寸2分、ヨコ4寸2分の仕上りだが、これよりタテ、ヨコ共1分ずつのびたものもある。四六全紙は前項によっても判るように、新規格のB列全紙(765×1085mm)に近い形である。四六全判がけの印刷機もあるが、普通には半載がけが用いられる。また「新四六」は裁ち落しをすくなくして、見た感じをゆったりさせたもので「新菊判」という同類型もある。【白抜き】 しろぬき。印刷用木版で文字を白く抜いたもの。心理学者の

【知】「明治語典 言葉で描く風俗誌」

【赤門(あかもん)】 赤門は將軍家の姫が降下奥入れすると御朱殿を造るが、その時建てるお迎え門。正式には「御朱殿門」である。旧前田御上屋敷には東京帝国大学(今の東京大学)が建ち、赤門は大学の正門となった。赤門と言えは東京帝大と解し、「赤門出の秀才」と言えは、「銀時計」(其項参照)を想わせた。(なお赤門は桜田門外、井伊家にもあった。現在警視庁のある場所)

【あがり】 召し上る、召し上れの系統から発した言葉で、「茶」のこと。料理屋などで「おあがりお持ちいたします」などという。江戸時代に郭の本店で客がつかぬ妓に「挽茶」をつくるために葉茶の手挽きをやらせたことから、「おちゃひき」と言って、客商売の忌み言葉となった。鮎屋などで客が食べ終った時、茶を所望する時の「あがり」は「上り」の意味で、これでおしまいの意である。鮎屋では刺身庖丁の使えなくなったものを「あがり」と言った。これは海苔切庖丁として利用された。

【味】「そば 風味・風習」

「柏原の蕎麦」が信州の代表

都会人は「戸隠蕎麦」「更級蕎麦」「木曾の蕎麦」というと、すぐにうなずくが、「柏原の蕎麦」といったのでは、どうもピンと来ないらしい。しかし、「そば」好きはいう「信州でも長野・松本あたりは駄目、辛うじて「そば」らしい」「そば」を食い得るのは、今ではわずかに一茶のふるさと柏原附近ぐらいのものである」と。たしかに試してみると、柏原のは特色がある。ツナギを好まぬ人にはこの粉ならば、それをういなくても、土地のじょうずな打ち手がうまくつくってくれる。

こういうわけだから、一口に信州蕎麦といっても、なかなか簡単に説明できるものではない。旅する人がよく販売の「そば」で信州の気分を味っているのを見受けるが、南信では塩尻と木曾福島の駅蕎麦、北信では草津電鉄の軽井沢駅の売店がいいと、旅だよりを寄せてくれた仁があった。また、蕎麦通で知られた専売公社の佐々木正逸氏は、上州沼田駅前の「そば」を賞めておられる。

【説】「新聞雑誌語事典」

力の部

【海外依存】 外國に依存して存在すること。例へば我國に於ける石油使用量の如きは國內の産出に依つてこれを充當することが出来ない。そこで、外國から輸入する。この點に於て海外依存といふことが出来るのである。

【海外放送】 ラジオ放送を通じて、その國の主義・主張・趣味・文化の程度を海外に知らしめることが海外放送の主な方法であるが、その目的としては、外國をして、その國に對する關心について再認識をなさしめるほかに、外國に於て成長しつつある第二世に向つて、祖國の眞の姿を知らしめることも重要な目的の一つとされてゐる。

【回歸線】 赤道を基準として、南北各二十三度半を通過する緯線。この間を回歸圏といひ、日光の直射を受ける熱帯の南北の極限、太陽が北回歸線に來た時を夏至、南回歸線に來た時を冬至といつてゐる。なほ言

【秋味(あきあじ)】 新巻の異称。北海道用語。蛙は「裂け」に通じると言つて忌む。「しゃけ」と言うのは関東風。「さけ」はアイヌ語から出たもの。

【春夏冬二升五合(あきない、ますますはんじょう)】 しゃれ言葉。春夏冬で「秋(商)ない」「升」が二つですます(辨々)五合は一升の半分で半升(繁昌)。(現在でも東京神田の算盤屋の看板にも見られる。)メートル法では「升」を九倍して五で割れば、リットル計算ができる。

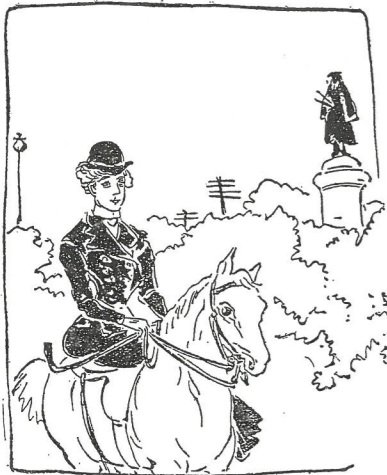
【あきんど宿(あきんどやど)】 「あきゅうとやど」安直な「旅人宿」入口からすぐに階段で二階へ上る形式はチャンバラ映画でもごらんの通り。しかし、「下座敷」と称して別棟の上等の部屋もあった。行商人の定宿とされているところは、富山の葉売り、猿まわしなども宿った。上等の座敷に宿る客は、旅籠賃のほかに茶代(ちやづけ)を帳場へも出す慣わしがあった。高級旅館も江戸が東京と変わっても、当分の

【事】「明治大正昭和 大事件怪事件記録」

ハイカラの語流行

東京毎日新聞記者石川半山が初めて「ハイカラ」の語を用ひて、いはゆる洋行歸りを痛罵した。新聞紙上「灰

——ハイカラの語流行時代——



花の九段坂所見(明治三十六年頃)

【階級闘争】 階級自覚である。社會的に見れば、異つた種類の階級の、それぞれの主として經濟上の地位が、それらの階級の集團精神の上に反映されたものをいふ。

【回教徒】 「汎アラビヤ主義」参照。

【會計検査院】 國家の會計を検査・監督するために獨立した官廳で、天皇に直屬し、國務大臣に對して獨

廢娼運動

明治四十二年頃救世軍の一隊が、東京に於て、吉原、洲崎に進出し、街頭宣傳をなし、流血の慘事を惹起して以來、幾多の闘士が出たが、時代はこれに伴はなかつた。

御存じですか？ 全5巻 植原 路郎 著

- 【知】御存じですか？ -常識百般早わかり-、明治語典 言葉で描く風俗誌
定価9,000円(税別) ISBN978-4-87733-490-1
- 【食】食通入門 食べ物事典 [附録] 食卓への招待 味の辞典
定価6,000円(税別) ISBN978-4-87733-491-8
- 【味】そば 風味・風習、鰻・牛物語
定価7,500円(税別) ISBN978-4-87733-492-5
- 【読】新聞雑誌語事典、実用 本の辞典
定価7,500円(税別) ISBN978-4-87733-493-2
- 【事】明治・大正・昭和 大事件怪事件記録
定価6,000円(税別) ISBN978-4-87733-494-9
- B6判/上製クロス装 平成21年6月末日刊行
揃定価36,000円(税別) ISBN978-4-87733-495-6(セット)

事物起源選集 全8巻

紀田順一郎 監修・解説

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------|---------------|-------------------|
| ① 雅俗便覧 日本事物起源
事物原始考 | 金子 晋 編
松本 茂平 著 | 定価 8,200円(税別) | ISBN4-87733-231-6 |
| ② 増訂 明治事物起源 | 石井 研堂 著 | 定価19,000円(税別) | ISBN4-87733-232-4 |
| ③ 社会事物 起原と珍聞
座談の泉 事はじめ・物はじめ | 植原 路郎 著
植原 路郎 著 | 定価 9,500円(税別) | ISBN4-87733-233-2 |
| ④ 日本文化史 事物起源辞典 | 雨宮信一郎 著 | 定価 8,000円(税別) | ISBN4-87733-234-0 |
| ⑤ 農業事物起原集成 | 大野 史朗 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-235-9 |
| ⑥ 真説 事物起原大辞典 | 清教社編集部 編 | 定価14,000円(税別) | ISBN4-87733-236-7 |
| ⑦ 日本事物起原誌 | 植原 路郎 著 | 定価 5,600円(税別) | ISBN4-87733-237-5 |
| ⑧ 日本文化 事物起源考 | 速水 建夫 著 | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-238-3 |
- 揃定価88,300円(税別) ISBN4-87733-230-8(セット)

事物起源選集 第二回全5巻

紀田順一郎 監修・解説

- | | | | |
|-----------------|---------|---------------|-------------------|
| ⑨ ものしり事典 言語、文化篇 | 日置 昌一 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-259-6 |
| ⑩ ものしり事典 風俗、女性篇 | 日置 昌一 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-260-X |
| ⑪ ものしり事典 芸能娯楽篇 | 日置 昌一 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-261-8 |
| ⑫ ものしり事典 政治、宗教篇 | 日置 昌一 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-262-6 |
| ⑬ ものしり事典 飲食、医薬篇 | 日置 昌一 著 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-263-4 |
- 揃定価65,000円(税別) ISBN4-87733-258-8(セット)

近代世相風俗誌集 全9巻

紀田順一郎 監修・解説

- | | | |
|------------------|---------------|-------------------|
| ① 東京風俗志 上中下巻 | 定価13,000円(税別) | ISBN4-87733-303-7 |
| ② 明治初年の世相 | 定価11,000円(税別) | ISBN4-87733-304-5 |
| ③ 太政官時代 | 定価16,000円(税別) | ISBN4-87733-305-3 |
| ④ 江戸と東京 風俗野史 | 定価12,000円(税別) | ISBN4-87733-306-1 |
| ⑤ 明治時代の風俗 | 定価10,000円(税別) | ISBN4-87733-307-X |
| ⑥ 日本風俗史 | 定価 6,000円(税別) | ISBN4-87733-308-8 |
| ⑦ 銀座百話、銀座・築地物語絵巻 | 定価11,500円(税別) | ISBN4-87733-309-6 |
| ⑧ 明治詩話 | 定価 7,500円(税別) | ISBN4-87733-310-X |
| ⑨ 明治少年文化史話 | 定価 8,000円(税別) | ISBN4-87733-311-8 |
- 揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-312-6(セット)